

2024年1月29日  
研究報告会2023年度冬(第54回)

# 石黒先生へのコメントに 対する回答

---

大森 孝生

## (1) 日本での陸側情報活用は始まったばかり

### ✓ データ蓄積段階

- 個別ターミナルから、港全体、地域全体でのマクロデータの把握へ。  
日本ではCOMPASの普及率にも鑑み、コンテナターミナル又はトラック事業者の方々に負荷のかからないデータ解析方法を見極めていきたい。

### ✓ 現状把握と分析による改善

- 荷主に対する利便性向上と港湾の運営・投資コストのバランスを然り考慮していく。データ解析により、大きな投資を伴わずに荷主の利便性向上や業務時間短縮に資するテーマが存在。
- 海外の発展途上にある港湾・地域では、貨物数量の伸びに物流インフラのキャパが追いついていない為、貨物の滞留時間短縮が大命題。ターミナルでも滞留時間を短くする為の施策・タリフ設計が実行されている。  
→日本での現状はどうか。

### ✓ 従来の分析手法を応用可能

- 港湾が保有する機器や労働力と併せ、その効率的な活用を左右する外部要因（陸側情報）を如何に定量分析に組みこみうるのか、今後、アドバイス賜りたい。

## (2) 港湾の効率化とサプライチェーン全体の効率化をいかに両立するか定量分析により検討

### ✓ 降ろし取りのメリットとデメリット

- 「メリット」トラック一台が二本のコンテナを取り使うので、コンテナターミナルの立場から見れば、同じタリフ収入を一台のトラックで稼げる。同じ収入が稼げるのであれば、トラックの通行台数は少ない方が良い。且つ、ヤード内をシャーシのみで走る時間が削減できることで、1コンテナ辺りの滞留時間が削減できる。輸出入貨物を持つ荷主にとっては、コストダウンにつながる。
- 「デメリット」カギは、誰と誰の組み合わせが可能性があるのか。荷主、フォワーダー、海外ではトラック事業者間の情報交換による事例も多い。トラック事業者の収益減となりや？一方、トラック不足の本邦に於いてはメリットに？

### ✓ ゲート予約のメリットとデメリット

- 「メリット」決められた時間に到着すれば（大前提）ゲート待ち無し、港湾もピークカットが抑えられる。24時間稼働でないと、時間の分散が難しい。
- 「デメリット」常態化しない？→ゲート予約の効果を分析するデータがとり切れない可能性。渋滞が無いならゲート予約が必要ないとのユーザー認識もある。

## (2) 港湾の効率化とサプライチェーン全体の効率化をいかに両立するか定 量分析により検討

- ✓ サプライチェーン効率化のために港湾ができること
- 「商品の販売動向を見据え、輸送日数の差や、主要物流インフラでの貨物の滞留度合いも勘案し、輸送モードを選択する」荷主のニーズに応える必要あり。貨物の保管が必要なら輸送日数の長い船会社を選択など。
- 港湾は異なる輸送手段の結節点。荷主の利便性向上と港湾資産の効率化を達成する直接・間接のデータを取得・解析できる、重要なポイント。

貨物の可視化情報を提供する米国のProject44という企業がある。顧客である大手荷主に対して、港湾や空港など物流インフラの稼働効率に関連する情報の提供も昨年より開始。まずは、顧客である荷主が使う物流拠点において実際の貨物滞留時間を収集、データは匿名化して他の顧客と共有し、更にデータの質を高めていく戦略。